

11月15日 やまと郡山城ホール

ユスト高山右近列聖列福を願う集い

音楽と演劇で綴る右近の生涯

「義の人・ユスト高山右近」

### 秋のひととき、みなさん お誘いあわせのうえに「参集を

11月15日、やまと郡山城ホールにおいて、上演されるのは「音楽と演劇で綴る右近の生涯―「義の人・ユスト高山右近」です。出演は奈良ブロックの信者さん達大勢とゲスト出演で京都教区の神父さま方。そのほか奈良地区のカトリック幼稚園児たち、宇陀市で活動の和太鼓チーム、ヒップホップダンスチームなど。大人10000円、子供（小中学生）5000円。大勢の方々の参集を期待しています。

ヤ、ハレルヤの大合唱―息もつかせぬ舞台展開、出演者の熱演、アンコールの大拍手を期待しています。

● 大塚司教さまからも「右近の波乱にとんだ生涯は信仰者として生き抜いた人間ドラマです。このたびの催しは奈良ブロックの全信徒の祈りと行動が結実したもので右近列福運動をさらに盛り上げると期待しています」という熱い応援メッセージをいただいています。

● 来年2月3日は、高山右近没後400年。私たちの熱い願いが右近列福に結びつきますように祈ります。（「集い」実行委員・阪井）

● 演出家は熊本 一さん（劇団「大阪」主宰・生駒市在住）。勤労者の演劇活動を40数年続けられ、数々の賞を受賞。

● 協賛事業として「右近Tシャツ」の販売をしています。1枚800円。サイズはSサイズからXLまで4種類。

● 役者はオーディションを経て、6月1日から舞台稽古が始まります。また合唱団も南部、北部に分かれて各40名を組織、すでに南部では練習が始まっています。

● 「右近CD・ユスト右近讃歌」「子どものデ・デウム」各2000円で販売中。

● 上演時間は約2時間。第1幕の見どころは右近が死を覚悟して、織田信長の前に刀も帯びず、断髪の白装束で現れるところ。第2幕はキリシタン禁教令のもと、小さい孫たちとともに雪の北陸路の苦行。そしてフィナーレはマニラでの熱い歓迎、ハレル

● 「右近CD・ユスト右近讃歌」「子どものデ・デウム」各2000円で販売中。

#### 高山右近で、どんな人？

高山右近は戦国時代に生まれたキリシタン大名のひとり。戦国時代の3大巨人・織田信長、豊臣秀吉、徳川家康と対決。「義」を貫き通し、最後はフィリピン・マニラで生涯を終えた。「城を開城せねば司祭、領民を殺す」と迫る信長。「棄教せねば、大名の地位を奪う」と迫る秀吉。「棄教せねば、国外追放だ」と迫る家康。その生涯は、いかなる困難にあっても「福音」に従って生きる希有の戦国大名として、その名はヨーロッパ諸国に広く知られている。

#### 奈良は高山右近とどんな関係があるの？

高山右近は摂津の高山（現在の大阪府茨木市）に生まれた。父飛騨守が大和の国の沢城主（現在の奈良県宇陀市榛原）の時に、一家あげてキリスト教の洗礼を受けた。右近当年12歳、洗礼名はユスト（義）。私たち奈良ブロックの8つの教会は、1970年から「右近受洗の地」である沢城跡の麓で「右近こどもまつり」を開催。今年で45回を迎え、地元でも伝統ある行事として育ってきた。



右近Tシャツ着用ランディ、ホセ神父